



2025年2月14日

各位

会社名 株式会社フレアス
代表者名 代表取締役社長 CEO 澤登 拓
(コード番号: 7062 東証グロース)
問合せ先 執行役員財務経理部長 関根真一郎
(Tel. 03-6632-9210)
<https://fureasu.jp/>

業績予想及び配当予想の修正（無配）並びに中期経営計画の一部取下げに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2024年5月14日に公表いたしました、2025年3月期の通期業績予想及び配当予想につきまして、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

あわせて、2027年3月期を最終年度とする中期経営計画の一部取下げについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2025年3月期通期予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想	百万円 8,062	百万円 200	百万円 79	百万円 35	円 銭 15.23
今回修正予想	7,664	▲61	▲133	▲219	▲93.28
増減額	▲397	▲262	▲212	▲255	
増減率（%）	▲4.9	—	—	—	
（ご参考） 前期実績 （2024年3月期）	5,710	110	126	58	24.78

(2) 修正の理由

2025年3月期通期連結業績予想につきまして、マッサージ直営事業においては、2024年6月の療養費改定による施術単価増により売上高が業績予想から上振れたものの、営業

相談員増員による販管人件費及び業務委託費の増加等により費用が増加し、営業利益が業績予想から下振れました。マッサージフランチャイズ事業においては、マッサージ直営事業と同様に、2024年6月の療養費改定による施術単価増により加盟店からのロイヤリティ収入が増加いたしました。一方で、加盟店開発において通常加入プランより安価な加入プランでの新規加盟が増加したものの、通常加入プランでの新規加盟が大幅に減少したため、売上高及び営業利益が業績予想から下振れました。施設系介護サービス事業においては、医療対応型療養施設での看護師の採用遅れによる訪問看護サービスの提供回数の減少及び介護士の採用遅れによる介護サービス提供回数の減少等により売上高及び営業利益が業績予想から下振れました。また、一部の施設において、2024年10月、12月に入居率が一時的に低下したことにより、売上高及び営業利益が業績予想から下振れました。看護小規模多機能型居宅介護施設においても利用者獲得の遅れにより売上高及び営業利益が業績予想から下振れました。

上記の内容から、通期における営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を下回る結果となりました。

2. 配当予想の修正

(1) 配当予想

基準日	1株当たり配当額		
	第2四半期末(中間)	期末	年間
前回予想	—	10.57円	10.57円
今回修正予想	—	0円	0円
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	—	10.57円	10.57円

(2) 修正の理由

当社は、株主への配当を実施することは最重要課題の一つとして認識しており、収益状況、内部留保の充実等を総合的に勘案し、配当を行うことを基本としております。

2025年3月期の業績につきましては、「1. 業績予想の修正」に記載の通り、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益いずれも損失の見込みとなっております。

財政状態等を勘案し、誠に遺憾ではございますが、2025年3月期の期末配当金につきましては無配とさせていただきます。

なお、今後は安定的な収益体質を実現できるよう事業活動を進めてまいります。

3. 中期経営計画の業績目標取下げについて

(1) 中期経営計画の業績目標取下げの理由

当社は、2024年5月14日に2027年3月期を最終年度とする新中期経営計画を公表し、その業績目標の達成に向けて取り組んでまいりました。

しかしながら、2025年3月期の業績は、「1. 業績予想の修正」に記載の通り、業績予想を下方修正することとなり、中期経営計画策定時において想定していた計画初年度と大きく異なる経営状況となりました。そのため、公表している3カ年の業績目標の達成が困難であると判断し、中期経営計画における業績目標を取り下げることといたしました。なお、中期経営計画に掲げている事業成長戦略等については変更ありません。

(2) 今後の公表について

当社は、今後も、中期経営計画に掲げる「医療対応型療養施設を中心とする成長戦略」を継続して取り組んでまいります。新たな中期経営計画の業績目標につきましては、当社を取り巻く昨今の事業環境等を総合的に勘案し、2026年3月期の業績予想を踏まえた上で、合理的に策定できるようになった時点で速やかに公表する予定となっております。

※当資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上